



焼貫茶入 樂吉左衛門作 2009年
小鳥 ボルネオ 木 長16.5cm

樂吉左衛門

陶芸作家

ボルネオの小鳥です。もとは羽根もあつたようです。インドネシアの
ネイティブアートはアフリカにくらべて造形がおだやか。とても愛らし
く、自然を見つめる素朴な観察眼がうかがえます。

僕はさほど骨董趣味をもちません。現代美術でも古美術でも、洋の東
西を問わずひかれるのは、時代をこえる精神性をもつものです。

たとえば自然や宇宙にたいして人間がいだく畏怖のような感情は、古
代も現代もかわらない。つまりそれは古代的でありつつ、つねに新しい。
僕にとって長次郎の茶碗はそういうものだし、茶の湯も本来、そうした
「新しさ」に立ちかえる行為なのだと思います。



Kichizaemon Raku